

国立国語研究所学術情報リポジトリ

あとがき

著者	岩淵 悦太郎
雑誌名	ことばの研究
巻	1
発行年	1959-02
シリーズ	国立国語研究所論集 ； [1]
URL	http://id.nii.ac.jp/1328/00001730/

あ と が き

国語研究所が十周年を迎えるについて、記念としていろいろの行事が考えられたが、その一つとして研究所員の研究論文を集めて公刊することを計画した。研究所が研究を進めるには、所員の頭脳と努力とに負うところが多いわけである。所員としては、与えられた課題についての研究のほかに、研究者として、たえず問題をひろい、問題を見つめ、方法論をみがいて行かなければならない。その意味で、今回の論文集を編修するに当って、所員が各自に選んだ題目について自由に執筆してもらうことにした。ただし、枚数を制限し、しかもかなり少ない枚数に限ったために、のびのびと論を発展させることは必ずしも望めなかった。中には非常に圧縮して、大筋を述べたにとどまり、十分意を尽したとは言いがたいものもないではない。

研究所の所員は、現在、すべてことばの問題の研究に従事しているわけであるが、専攻した学問からいうと、言語学・国語学・国文学・教育学・社会学・心理学等の多方面にわたっている。今回の論文集も、それぞれ得意の面から、ことばの問題を論じている。一冊の書物としては組織的なものにはならなかったけれども、それぞれ違った方面から、ことばの問題について、枚数の制限というわくの中ではあるが、細かく調べ、考えを深めようとしている。大方の批評をいただいて、われわれの一層の成長を計って行きたいと思う。(第一研究部長 岩淵悦太郎)